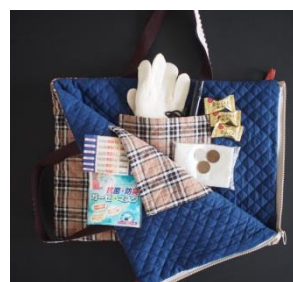


(注意) A4サイズ・横書き

<活動の様子>



事業名 みんなで防火防災ものづくり～手作りグッズで防火防災の意識を高める～

<目的>

工業高校生の「ものづくり」のアイデアを地域防災に生かし、地域と共に防災意識を高め合う活動を行います。活動を通じて防災の正しい知識を身に付け、自己の成長を促すとともに地域の子どもの健全育成にも寄与します。

<事業内容>

○「アイデア防災ずきんの普及」

私たちが制作したアイデア防災ずきんは、手さげ袋として持ち歩くことで日常の防災意識を高め、災害時には、頭部を保護する大事なアイテムになることを皆さんにお伝えする活動を行っています。

○「災害伝言ダイヤル171の模擬体験」

防災訓練の会場に模擬体験コーナーを開設し、スマートフォンを使って、災害伝言ダイヤルの操作方法を模擬体験していただきました。

○「高齢者の着衣着火防止啓発」

防災アームカバー・防災エプロンの制作を通して、高齢者の着衣着火による火傷や死亡事故の防止を呼び掛けています。衣服の燃焼試験を行い、着衣着火の危険についてのビデオ動画を作りました。

<市民の参画や他団体との連携>

①松山市消防局

私たちの活動に助言と指導をしていただき、消防フェスタ等の行事に出展させていただきました。

②小野地区自主防災会

着衣着火防止、災害伝言ダイヤルの模擬体験、防災ずきん普及等の活動をさせていただきました。

③真砂町町内会

町内の皆さんと合同で、救助方法・心肺蘇生・災害伝言ダイヤルの模擬体験などを行いました。

④日本公衆電話会（NTT西日本）

災害伝言ダイヤル171模擬体験の実施にご協力をいただいています。

⑤愛媛大学防災リーダークラブ

主体的な防災活動を行う大学生と定期的な交流と情報交換を行っています。

<市民に対するPR>

○「高齢者の着衣着火ゼロ啓発活動」にご協力ください。

着衣着火は誰にでも起こる火災事故です。高齢者が火を使うときには周囲の見守りが必要です。

○「手作り防災ずきん普及活動」に参加しませんか？

手作り防災ずきんは、子どもの命を守りたいという気持ちで作る防災グッズです。